

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（東海第二（670））

2. 日時：平成30年2月13日 18時50分～18時55分

3. 場所：原子力規制庁 8階会議卓

4. 出席者

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

大塚安全審査官、高嶋原子力規制専門員

事業者：

日本原子力発電株式会社：発電管理室 主任

5. 要旨

(1) 日本原子力発電株式会社から、平成26年5月20日に申請、平成29年1月24日及び平成30年2月13日に一部補正のなされた東海第二発電所の工事計画認可申請について、当該申請書に係る補足説明資料の一部が提出された。

(2) 原子力規制庁から、事業者の準備が整ったものからヒアリングを進め、必要に応じて指摘を行っていく旨を伝えた。

(3) 日本原子力発電から、了解した旨の回答があった。

6. その他

提出資料：

- ・防潮堤（鋼製防護壁）の耐震性についての計算書
- ・防潮堤（鋼製防護壁）の強度計算書
- ・防潮堤（鉄筋コンクリート防潮壁）の耐震性についての計算書
- ・防潮堤（鋼管杭鉄筋コンクリート防潮壁）の強度計算書
- ・防潮堤（鉄筋コンクリート防潮壁）の強度計算書
- ・防潮堤（鉄筋コンクリート防潮壁（放水路エリア））の耐震性についての計算書
- ・防潮堤（鉄筋コンクリート防潮壁（放水路エリア））の強度計算書
- ・防潮扉の耐震性についての計算書
- ・防潮扉の強度計算書
- ・貯留堰の耐震性についての計算書
- ・貯留堰取付護岸の耐震性についての計算書
- ・貯留堰の強度計算書
- ・防潮堤（鋼管杭鉄筋コンクリート防潮壁）の地震応答計算書

- ・防潮堤（鋼管杭鉄筋コンクリート防潮壁）の耐震性についての計算書
- ・東海第二発電所 工事計画に係る説明資料（V-1-1-2-2 津波への配慮に関する説明書）
- ・機器・配管の耐震支持設計方針
- ・電気計測制御装置等の耐震設計方針
- ・発電用原子炉施設の蒸気タービン、ポンプ等の損壊に伴う飛散物による損傷防護に関する説明書